

新婦人しんぶん

新日本婦人の会目的

- ☆核戦争の危険から女性と子どもの生命をまもりまします。
- ☆憲法改悪に反対、軍国主義復活を阻止します。
- ☆生活の向上、女性の権利、子どものしあわせのために力をあわせまします。
- ☆日本の独立と民主主義、女性の解放をかちとりまします。
- ☆世界の女性と手をつなぎ、永遠の平和をうちたてまします。

今週の紙面

- 2面 ニュース
- 3面 読者のページ/まんが/乱楽
- 4~5面 労働時間短縮で生活時間を取り戻そう/女性 働く/ホット
- 6面 食事情/子育て相談/アルプス処理水 放出撤回を
- 7面 新婦人活動/主張/母の歴史

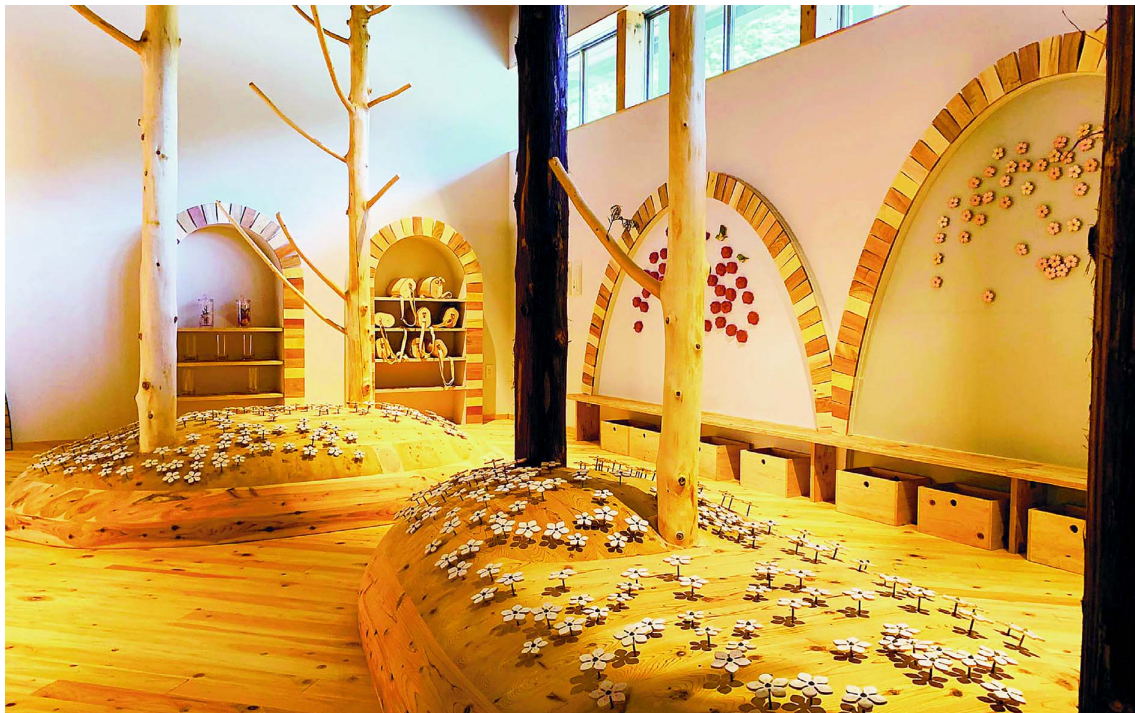


東京・葛飾区 伊藤順子

新日本婦人の会は国連に認証されたNGOです

おもちゃで幸せな出会いを

「おもちゃ美術館」15年間で全国に12館



「植物、のおもちゃが並ぶ館内。小さなバイカオウレンの花は、取り外し可能でひっくり返すとコマに変身 (佐川おもちゃ美術館・高知) 【写真と図は全てNPO法人芸術と遊び創造協会提供】

東京おもちゃ美術館館長

多田千尋さんに聞く



ただちひろ 1961年、東京生まれ。NPO法人芸術と遊び創造協会理事長、東京おもちゃ美術館館長。乳幼児から高齢者までの遊び・芸術によるアクティビティケア及び世代間交流の実践・研究にとりくむ。著書に「遊びが育てる世代間交流 子どもとお年寄りをつなぐ」(黎明書房)など。

おもちゃと遊びの文化を伝えるため、全国に次々とまれる「おもちゃ美術館」。地域の特色を生かし、年代を超えて、訪れた人を魅了する豊かな空間が特徴です。込められた思いを、東京おもちゃ美術館館長の多田千尋さんに聞きました。

木の香りに包まれ 遊べる「美術館」

7月15日、高知県佐川市に「佐川おもちゃ美術館」がオープン(左)。牧野富太郎博士にちなみ、木でつくられた「植物」のおもちゃが数百個展示され、森の遊びを体験できる木造大型遊具が話題です。たくさんの人で連日にぎわっているとおもちゃ美術館の、12館目となります。

監修を手がけた多田千尋さんに会いに、第一号の東京おもちゃ美術館(東京・新宿区)を訪ねました。2008年のオープンから15年。廃校を

現在、全国に12館が開設

美術館ごとに違うロゴに 地域の特徴が表れている



大理石にも例えられるほど、木目の色合いが強く美しい「リュウキュウマツ」を使ったヤンバルクイナのだまごプールで遊ぶ。伝統的な草編み玩具のワークショップも開催されている(やんばる森のおもちゃ美術館・沖縄)

利用して作られた3階建ての建物の中に入ると、いたるところに木材が使われ、心落ちつく空間が現れます。ひんやりと心地よい涼しさも感じられ、ほっとします。11教室を使い、海外100カ国、約15万点のおもちゃの所蔵や展示。手づくりおもちゃ工房も常設。子

根っこにあるのは「平和」への思い

おもちゃ美術館のルーツは、多田さんの父親・信作さんが45年前に中野区に設立した東京トイアートミュージアム(現在は閉館)。「父は美術教育の専門家でした。平和運動としてとりくんでいたと思う」と多田さん。昭和8年生まれで戦時中は、軍国少年だったお父さん。終戦後、価値観が一変し、教科書の軍国主義的などころに墨を塗られる体験をしました。そのなかで「なぜ人間は戦争をおこして人を殺せるのか」と考え続け、「芸術がいかに大切か」との思いに至りました。「父はヨーロッパに行ったとき、子どもたちが美しいおもちゃで遊んでいるの



廃校になった小学校を利用して設立された東京おもちゃ美術館(東京・新宿区)

を見て驚嘆し、人間が初めて出会う芸術はおもちゃなのではないか」と気づいたそうです。帰国後、おもちゃを集めて作ったのがトイアートミュージアムでした。「美しいものをこよなく愛し、美しいものをじぶんの力でつくりあげる。みにくいものを美しいものに変えていく。その心と力を持った子どもたち」。これは信作さんの言葉で、今も美術館の壁に飾られています。「この「美しい」という言葉を平和に置き換えてみると、平和を作りあげる力となる。みにくいもの」というのは戦争です。だから戦争を平和に変えられる力を持った人に育ってほしい。おもちゃ美術館の根っこには平和への願いがあるんです」と多田さん。(2面へ)

8月19日号は休刊です

